

片山議員、山田議員が聴く

多世代で育む循環型交流拠点 未完成を楽しむ、黒瀬の森づくり

コウノトリが帰る湖畔の森での活動

黒瀬の森の中にコウノトリがやって来たことをきっかけに、森の中で自然と触れ合いながら多世代の皆さんが交流する活動に取り組まれている「黒瀬まちづくり会」の皆さんに、活動内容や今後の目標などを伺いました。左の写真は黒瀬コスモス園と法人職員の自作のピザ窯です。



令和7年度「森づくり事業」参加者・スタッフの皆さん



コウノトリがやって来る森を
人が集まるフィールドに

岡田 令和5年秋、黒瀬町の亀ヶ首池に十数羽のコウノトリが飛来しました。約1か月間滞在したその姿は、多くの地域住民に驚きと喜びをもたらしました。この出来事をきっかけに、「この自然環境を

話を聴きした「黒瀬まちづくり会」の皆さん



黒瀬コスモス園 施設長
梶原 和崇さん



広報担当
藤村 親子さん



事務局長
上田 竜也さん



会長
岡田 博陽さん

活かし、人が集まる場所をつくれ
ないか」という思いから生まれた
のが「黒瀬まちづくり会」です。
池や山林、黒瀬コスモス園周辺の
土地を一つのフィールドとして活用
し、地域の魅力を活かした新しい
まちづくりの活動が始まりました。



池に飛来したコウノトリ

黒瀬町を通り過ぎる町ではなく、 立ち寄りたくなる町へ

岡田 黒瀬町は広島市と呉市を結
ぶ南の玄関口です。便利な立地で
ある一方、通過点になりやすい地
域でもあります。そこで会では、
「通り過ぎる町ではなく、立ち寄
りたくなる町へ」を合言葉に、自
分たちの手で地域を面白くする取
組みを進めています。活動拠点
は、黒瀬コスモス園のあるゴルフ
場跡地の森です。広い自然環境を
活かし、森を整備しながら地域の
人たちが交流できる場所づくりに
取り組んでいます。

「未完成の森づくり」を大切に 「関わりしろ」がある魅力

上田 この活動の大きな特徴は、
あらかじめ完成形を決めないこと
です。専門家が設計した施設をつ
くるのではなく、地域の人たちの
「やってみたい」という思いを持
ち寄り、森を整えながら少しずつ
形にしていく「未完成の森づく
り」を大切にしています。重機を
使って道を整える人、企画を考え
る人、子どもと一緒に汗を流す人
など、関わり方は人それぞれで
す。誰でも自分らしい形で参加で
きる「関わりしろ」があることが、
この活動の魅力となっています。

自然の中での多世代交流 思い出の森を次の世代へ

藤村 これまで、地元小学生や大
学関係者と連携し、森林保全体験
や森を巡るウォークラリーを開催
しました。樹木の名前を学んだ
り、竹馬を作ったり、ピザ窯でピ
ザを焼いたり、青空の下で一緒に
食事をしたりと、自然の中で遊び
ながら学ぶ体験が行われていま
す。子どもたちは地域の自然を五

感で感じながら、新しいことに挑
戦します。保護者からも「普段見
られない子どもの表情が見られた
」と好評で、自然体験の大切さを改
めて感じる機会となっています。



広島国際大学の先生と葉っぱの種類を確認



参加児童・保護者・スタッフが交流

この森では、学び・体験・遊び
が重なり合い、自然と多世代の交
流が生まれます。今後は森の地形
を活かした散策路づくりや焚き火
体験、デイキャンプ、サイクリン
グなど、気軽に楽しめるアウトド
ア体験を広げていく予定です。自
然の中での予想外の出来事や発見
は、子どもたちが考え、工夫し、
助け合う力を育み、「生きる力」
を育てる場にもつながると期待さ
れています。



地域の方に竹馬の作り方を
教わります

多くの人の協力によって活動は
少しずつ広がりを見せています。
コウノトリが毎年帰ってくるよう
に、この森にも人が集まり、また
帰ってきたくなる場所にしたい。
子ども頃の思い出を、次の世代
へつないでいく——そんな循環が
生まれる地域の拠点を目指してい
ます。

地域を盛り上げたい人 誰でも歓迎!!



参加児童に木製の受講修了証を交付

梶原 黒瀬まちづくり会では、活
動に参加してくれる仲間を広く募
集しています。関わり方は人それ
ぞれ。自然の中で何かを始めてみ
たい人、地域を盛り上げたい人、
誰でも歓迎です。「つくるのは森。
育つのは人。」 未完成だからこそ
広がる可能性を大切にしながら、
黒瀬の未来を地域とともに育てて
いきます。